



# 企業市民活動報告 2015-2016 冬号

Citizenship Report Quarterly vol.2

## ICT の力で 活力ある日本の未来社会へ

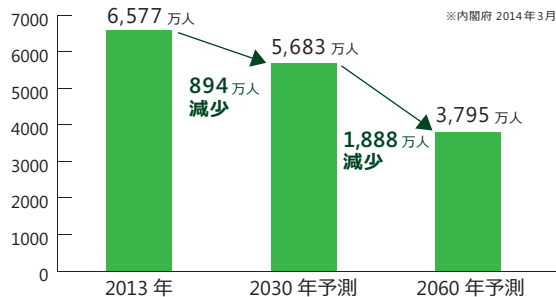


## 労働力人口は 2060 年に 2,782 万人減少

少子高齢化とそれに伴う労働力減少は、日本が直面する社会課題のひとつです。その解決の鍵を握るのが、ICT の利活用です。環境の変化にあわせた働き方として、ICT を活用した、場所や時間にとらわれないテレワークが注目されています。

『平成 27 年版情報通信白書』（総務省）によると、就業者がテレワークを希望する理由の1位は「自分にあった環境で仕事ができる」、30 代では「子育てと仕事との両立」、50 代では「親の介護と仕事との両立」をあげる人の割合が高くなっています。しかし、利用したくない理由として「PC など利用スキルが十分でない」が約 20%、また、テレワークの認知度は、企業・就業者ともに 5 割未満というのが現状です。テレワークは、多様で柔軟な働き方を選択することを可能にし、社会課題解決を期待されていますが、その認知度向上と普及には政府だけでなく、民間企業主体の取り組みも重要です。

■ 労働力人口の推計（現状維持の場合）



### ● 日本マイクロソフトの取り組み ●

## 651 の賛同法人様とテレワーク

日本マイクロソフトは、「テレワーク」を育児や介護など家庭の事情と仕事のバランスを補完する在宅勤務などに加えて、業務状況に応じて効率よく生産性を高める働き方として全社で推進しています。テレワーク推進プロジェクト「テレワーク週間 2015」(8 月 24 日～ 28 日) では、651 もの賛同法人様にご賛同いただき、「実践する」「学ぶ/議論する」「応援する/協力する」の 3 つのカテゴリーで活動を行いました。日本マイクロソフトの全社的なテレワークの実践だけでなく、賛同法人様と連携し、セミナーの開催や、テレワークスペースの提供、デバイス貸し出しなどさまざまな施策を行いました。

**Web** マイクロソフトテレワーク <https://www.microsoft.com/ja-jp/business/telework/default.aspx>  
 テレワーク週間 2015 <https://www.microsoft.com/ja-jp/business/telework/teleworkweek2015-default.aspx>



代表執行役社長の平野もテレワークを実践



品川本社オフィスの賛同法人様向けテレワークスペース



「輝くテレワーク賞」優秀賞を受賞

## 60% が「生産性の向上」を実感

実施後のアンケートでは、賛同法人様の 60% が生産性の向上、効率化効果を実感したという結果になりました。86% が「今後のテレワーク推進の助けになった」、「10% 以上の経費削減を実感」が約 3 割以上という結果も得られています。これらの結果を生かし、今後も日本のテレワーク推進への貢献につながる活動を継続していきます。また、テレワーク週間を含むテレワーク推進の取り組みが評価され、11 月のテレワーク月間<sup>※1</sup>に、厚生労働大臣表彰「輝くテレワーク賞」優秀賞を日本マイクロソフトが受賞しました。

※1 テレワーク推進フォーラム（総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、学識者、民間事業者等による構成）の主催により行われるテレワーク普及推進施策のひとつ

## 企業の 9 割に未知の脅威が侵入

ICT の利活用が進むとともに、サイバー攻撃による被害の深刻さは増大しています。日本の政府機関への不正アクセス件数は約 399 万件 (2014 年度) におよび、約 8 秒ごとに 1 件という高頻度です。<sup>※1</sup> また、企業の 7 割はセキュリティ事故を経験し、9 割が未知の脅威に侵入され<sup>※2</sup>、侵入から発見されるまで中央値で約 240 日を要しているという調査データ<sup>※3</sup> があります。

さらに 2020 年に向け、政府や企業への攻撃が増えることが想定されています。

いまやサイバー セキュリティは、国家的な問題であり、政府や企業のトップが率先して取り組まなければならない重要な課題です。

※ 1 「サイバー セキュリティ政策に係る年次報告 (2014 年度)」内閣サイバーセキュリティセンター

※ 2 トレンドマイクロ IT Japan 2015 2015 年 7 月

※ 3 McKinsey & Co. 高度ネットワーク社会で出来ることとそのリスク: 企業への示唆 2014 年 1 月



### ● 日本マイクロソフトの取り組み ●

#### 官民一体となった対策の重要性

2015 年 9 月 4 日、サイバー セキュリティについて官民が一体となって議論する「サイバー セキュリティ シンポジウム 2015」が衆議院第一議員会館で開催されました。100 名の定員を上回る応募があり、関心の高さがうかがえました。最初に登壇したのは、衆議院議員の平井卓也氏 (自由民主党 IT 戦略特命委員長) です。「デジタル化とグローバル化を推し進め、国民の幸せや国益につなげていくために、サイバー セキュリティは欠かせない施策」とその重要性を強調するとともに、マイ ナンバー制度や個人情報保護法についても言及しました。マイクロソフトからは、DCU (Digital Crimes Unit) 首席弁護士のボスコビッチが、米国を中心としたサイバー犯罪の状況を伝えました。締めくくりには、衆議院議員の福田峰之氏 (内閣府大臣補佐官) も加わりパネル ディスカッションが行われました。

「サイバー セキュリティ シンポジウム 2015」  
(自由民主党 IT 戦略特命委員会、日本経済団体連合会、日本データ通信協会 テレコム・アイザック推進会議、日本ネットワークセキュリティ協会、日本マイクロソフト 共催)  
衆議院議員平井卓也氏 (右上) と福田峰之氏 (右下)

#### 「意識の遅れ」こそが課題

今回のシンポジウム全体を通じてクローズアップされたことは、我が国におけるサイバー セキュリティに対する意識の遅れでした。企業の財務担当者からは「余計な負担」と疎まれ、中堅・中小企業においてはサイバー セキュリティそのものに対する理解が不足しているなどの現状がさまざまなディスカッションを経て浮かび上がってきました。日本マイクロソフトでは、世界最先端の知見を生かし、官民の架け橋となりながら日本におけるサイバー セキュリティの向上に取り組んでいきます。





Education Day

## 教育現場の ICT 利活用を支援

日本マイクロソフトは、産官学連携を通じて、21 世紀のグローバル化社会を生きる子どもたちの学びと、その教育に携わる教職員の皆様を ICT の側面から支援しています。子どもたちの可能性を最大限に引き出すためには、学校教育における ICT の導入、利活用提案、サポートを行うとともに、学校現場におけるさまざまな先進事例の共有、情報交換の場づくりも積極的に行っています。

そのような活動の一環として、2015 年 11 月 28 日に「Education Day」(主催: Windows クラスルーム協議会) が開催されました。冒頭では、代表執行役 会長の樋口泰行も登壇し、産業構造や技術革新に伴う今後の社会の変化の中で、職業のあり方、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)においても、創造的かつ生産的に過ごす上でますますサイエンス (Science)、テクノロジー (Technology)、エンジニアリング (Engineering)、数学 (Math) の 4 分野 (STEM) が重要であることを語り、マイクロソフト本社の教育担当副社長アンソニー サルシトとともに、今後マイクロソフトがよりいっそう STEM 人材育成に力を入れていくことを強調しました。

有識者の皆様より、作家であり東京都教育委員の乙武洋匡氏、文部科学大臣補佐官の鈴木寛氏にご登壇いただき、自治体、国が進める教育政策の方向性、グローバル社会の中での今後の日本の教育のあり方、業界への期待についてご講演いただきました。

当日は、より広くタブレット PC の活用や校務の情報化などの実践を支援することを目的に、ICT 活用を推進する学校への支援プログラム「Microsoft Associate Showcase School 2016 エビデンス チャレンジ」も発表されました。



「ICT はコラボレーションを行うためのインフラです。学びのカスタマイズをするために ICT 環境を使わないわけにはいきません。その目指す先は、必要な場で、必要なコミュニケーションを判断することのできる「創発力」のある人材 (creative collaborative art worker) です」  
文部科学大臣補佐官 鈴木寛氏



Hour of Code

## プログラミングを、子どもたちの身近に

Hour of Code は 2013 年にアメリカで始まり、現在、180 か国以上に展開されている、未来を担う子どもたちにプログラミング教育に触れる機会を広げる活動です。プログラミングの基礎を学ぶ 1 時間のチュートリアルが用意されており、2015 年は新たに Minecraft のコンテンツも加わりました。日本マイクロソフトでは、2015 年 12 月 13 日に、グローバルに展開される Computer Science Week に合わせて品川本社オフィスで「プログラミング体験会」を開催しました。教育現場、技術者、NPO、また文科省、総務省からも有識者の皆様にご参加いただき、日本のプログラミング教育の普及啓発について意見交換を行いました。



真剣にプログラミングに取り組む子どもたち



Upgrade Your World

## よりよい世界へアップグレード ～ Windows 10 Upgrade Your World ～

マイクロソフトは 2015 年 7 月 29 日の Windows 10 のリリースを記念して、グローバルキャンペーン "Upgrade Your World" を展開しています。日々素晴らしい活動で世界をアップグレードしようとしている非営利団体を応援する取り組みです。全世界的に 110 の非営利団体に 1,000 万ドルの寄付を行い、そのうち日本国内では 10 の非営利団体パートナーに各 5 万ドルを寄付しています。その他テクノロジー支援や社員ボランティアの機会を増やし、社員一人ひとりが地域の「アップグレード」に貢献できるよう活動を推進しています。



日本国内の非営利団体パートナーとともに

Web <https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/upgradeyourworld>

## 日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075

東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー

記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。  
この冊子は 2016 年 1 月現在のものです。

2016 年 1 月発行